



第五回海外旅行 「フイヨルトの旅」に参加して

小松洋子

同窓会の海外旅行も回を重ねて5回目、この夏は8月20日～29日まで、9泊10日の北欧の旅を実施した。

参加者は湊会長をはじめ総勢24名、全員が女性で、これにJTBの添乗員大庭さんが加わって、黒



フログネル公園

同窓会文化部の新設

今年、昭和から平成へと時代が移り、心のどこかでふと立ち止り、自分の在り方などについて考えることがないでしょうか。

同窓会も、総会、部会、旅行等を通じて、皆様のご協力のもとに年ごとに輪と和が広がって参りました。そうした中で、親睦を図りながら生涯教育の一端を担うことが出来る何かがないだろうかという声がかげられました。理事会で検討された結果、同窓会活動の一層の充実のために、今秋から新たに

2回の食事におやつ、北極点通過の証明書が機内で配られ、12時間余りでヘルシンキのバンタ空港へ到着した。時差が日本より6時間遅れのため現地時間は20日の16時20分だった。

ホテルでの夕食後、希望者約10人が大庭さんの案内で近くの中央駅と地下街を見物に行く。夜の9時頃でも外はまだ明るい。

翌日はあいにくの雨の中を約一時間程朝市見物。その後、午前中バスで市内見学を行った。市の北西にあるシベリウス公園には、現代女流彫刻家の手による重さ24tのスチール管で作った、パイプオルガンを思わせる記念碑と、シベリウスの肖像レリーフがある。

「文化部を設けることに決まりました。但し、同窓会が主催するのではなく、身近なところからという事で「料理教室」と、「英会話教室」の二教室から開始する運びとなりました。

食生活や生活環境の変化に伴い、家庭における食事の在り方や献立の内容も変り、ホテルやレストランで食事をする機会も多くなり、食事による成人病の予防や管理、ダイエット等も考える様になりました。又海外旅行に出ますと多少の会話が出来たら、お買物等も戸惑わずに済むのではないかと思うことがあります。

各地に設備の整った立派なカルチャーセンターが設けられ、まさに花盛りの時代ですが、この教室は、同窓生が楽しんで参加出来ること、先輩後輩との親交を深める場になること、自分達の手で育て発展させて行くこと等、それとは違った目的と意義を持った教室であると思います。又講師に高輪プリンスのシエフである柴田先生、短大の大先輩である武者先生、短大講師のオーストラリアのケネス・ワイブロー先生と学園に關係のある先生方をお願い致しました。もう一度学生に戻った気分が校門をくぐられ「教室」に参加なさつ

て、楽しいひとときをお過ごしください。ただきたいと存じます。

教室開催後は皆様からのご意見やご要望を拜聴しながら内容の充実を図り、一歩一歩前進してご期待に添うよう努力して行きたいと思っております。と同時に現在言われております生涯にわたつてのたゆみない前進と可能性の開発という社会の要請に少しでもお役に立つことが出来れば幸いです。

記

料理教室

- 一、日時 十月 七日 (土)
- 二、時間 午前十時三十分～十三時
- 三、内容 フランス料理 柴田先生
- 十一月 十八日 (土)
- 家庭料理 武者先生
- 十二月 二日 (土)
- フランス料理 柴田先生
- 四、会場 第二調理室
- 五、定員 二〇人
- 六、会費 三カ月一〇、〇〇〇円

英会話教室

- 一、日時 十、十一、十二月
- 週一回 (金)
- 二、時間 午前十時三十分～十二時
- 三、内容 日常会話 (初級)
- ケネス・ワイブロー先生
- 四、会場 同窓会会館
- 五、定員 二〇人
- 六、会費 三カ月二一、〇〇〇円

また、美しいバラの花で飾られた墓地々びえたみえみの墓場、入口が洞窟のように見える大胆な現代建築のテンペリアウキオ教会等見どころは沢山あった。

昼食後、コペンハーゲン経由でノルウェーのベルゲンへ。ベルゲンは14、17世紀にハンザ同盟に加えて栄えた商業都市で、港に面した山の中腹には童話に出てくるようなかわいい家が並んでいる、とても美しい町である。ホテルに到着したのが9時半と遅かったため、市内観光が出来なかつたのが残念だった。

三日目はいよいよ待望のフィヨルドめぐりの日。8時にホテルを出発し、途中、いくつかの滝を見物したり、ボスの町でフリータイムをとった後、午後のフェリーで

約二時間のソグネ・フィヨルドめぐりに入る。フィヨルドとは氷河期の終りに氷河谷が沈降して出来た入江のことを言うのだそうだが、あいにくの雨もようにもかかわらず、水の色の深い緑と周囲のけわしい山々は、自然の偉大さを感じさせられる素晴らしい眺めだった。

夕方到着したラーゲルの町は、静かな、山に囲まれた景観の美しい田舎町で、のんびり二、三日滞在したくなるような所。ホテルもロジックで、素朴な感じがする。翌朝は晴天に恵まれ、バスで山

越えをしてフロム鉄道へ向う。標高二一〇〇mの山の上は風も冷たく、冬のような寒さで、湖には流水が浮かんでいる。こんな寒い山の上に放し飼いの羊が何匹も草を食んでいた。

バスの中から、昨日とはまた違ったフィヨルドの美しさを心ゆくまで味わいつつ山を降り、3両編成の森林鉄道(フロム鉄道)に乗り換え、途中、ヒョーコスの滝というみごとな大滝のしぶきを十分に浴びて楽しんだ後、列車に乗ってオスロへ向った。ヨーロッパの列車は座席が広く、ゆったりとしていて、5時間以上乗っていても、あまり疲れを感じない。

北欧の旅五日目は九日オスロ市内の観光、ショッピングに費やした。午前中はバスで市内観光。一〇〇年前に発掘されたバイキン

グ船3隻が収められているバイキング船博物館、有史以前にペルーのインディオが用いた筏船を復元し、ペルーからボリネシアまで一〇日間かけて太平洋を航海したコンチキ号が収められているコンチキ号博物館、一九五二年の冬季オリンピックで有名なホルメンコルネルスキー場、彫刻庭園のフログネル公園の4カ所を見学。中でもノルウェーの大彫刻家、グスタフ・ビーゲランが設計し、一九二

点の彫刻で人間の一生を表現しているフログネル公園は圧巻で、彫刻を一つ一つながめていくと、あまりの現実的な出来栄に、恐怖すら感じられてくるほどだった。午後は自由行動。昼食を思い思いの場所できり、ショッピングや市内の散策に費やした。この日は晴天だったにもかかわらず、しばしば大粒の通り雨に襲われたのも北欧特有の気まぐれ天気への歓迎だろうか。

オスロ中心部にある王宮庭園は出入り自由で、ハンサムな衛兵に頼むと、写真撮影にも応じてくれる。また、記念切手を買いに入った中央郵便局はかなりの広さで、一隅に切手コーナーがあり、販売している記念切手がすべて掲示され、番号で申し込めるようになっていて、便利だった。

時間の関係で訪ねられなかった大聖堂や民俗博物館、ムンク美術館等、オスロはぜひもう一度訪ねて見たい所である。

次の訪問地はスウェーデン。ストックホルムからバスで約3時間の所にあるオレプロはスウェーデン5番目の都市で、教育、教会の都市として知られている。私達の泊ったグランドホテルは、3年前に日本人の手によって改装されたそう、バスは付いていないが、しゃれた造りになっている。

オレプロは二度目の湊団長の推せんで、夕食後、灯りのついたお城を見学。川と城と教会のある美しい町オレプロ。賑やかで、ゴミミした感じのストックホルムとは別世界のような感じだった。

7日目の昼食はストックホルムの和食レストランで、お刺身定食のおいしかったこと。北欧での食事はどれもおいしかったけれど、やはり和食が一番と再認識させられた。

最後の訪問地、デンマークのコペンハーゲンでは、あいにく台風のような風と雨に見舞われ、殆どがバスの中からの見学となってしまった。チボリ公園にも行けず同行した高二の姪が残念がることしきり。

この日の宿泊先アドミラルホテルは、海に面した所にあり、倉庫を改造したとのこと。室内に木の柱があり、船室を思わせる造りで、なかなか趣きがあった。

帰国前日になって一人怪我人が出たけれども、幸い全員一緒に帰

国することが出来、何よりだったと思う。この変化のある、すばらしいコースを企画して下さい。先生方、細かい所まで気を配って下さった添乗員の大庭さん、現地のガイドさん方からお礼を申し上げます。

(高校39年卒)

五月二十日(土) 午後二時から、小学校の講堂で小学校部会が開かれました。昨年は十数年ぶりということもあって先生方にご計画いただきましたが、今年は一、二、三期が幹事となって二六期までの社会人となった卒業生を対象にして五十三人が参加しました。

小学校部会

十期の河村君のお父さんの撮影した八ミリで始まり、同窓会準備会の経過、新役員の紹介のあと橋本校長の挨拶があって、懇談に移りました。

先生方、及び旧職員白石せつ子(藤家)、小松富美恵(竹下)、鈴木孝道(井上)の各先生の紹介があり、その後恒例の名前ビンゴで会場はおおさわぎになりました。音楽の岡千枝子(佐賀)先生の伴奏で、歌を歌って、閉会になりました。

来年は五月十二日(土)に開催の予定です。



ストックホルムの町並

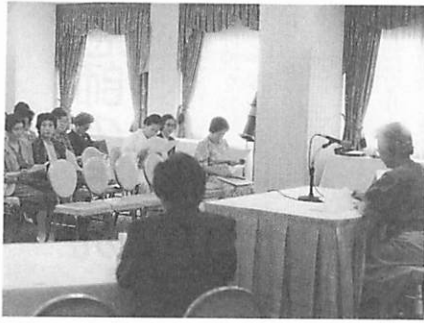
総会挨拶

会長 湊 くに

平成元年度総会

こんな日曜日の大変な時に、又遠方から御出席いただきましてありがとうございます。

同窓会の運営は本部・各校の幹事長・副幹事長・事業部・同窓会事務の関係者二十五名の理事者で種々討議をいたしました。六月の初旬に観劇会を終え、そのあとすぐ反省会をして、そのときに今日の同窓会の総会には、自分の生まれ故郷、生まれた家に、皆さんが、帰って来ると。来た時に良かったなと思えるように温かい気持ちで迎えるようではないか。そういうような事を決めてやってまいりました。私は本当に、皆さんの奉仕の精神を



みて、よかったな、と思っ

同窓会のあり方については、今色々の学校で討議されることが、ございます。先ず土台が出来あがって、その土台を締めて頂いたのは、今日こちらにおられる白井前会長でございます。先生には今でも名誉会長といたしまして、私共の後について、常に細かい温かい注意をして頂いております。

なにしろ年配の人から小学校までの人の集まりでございます。今年専門学校のビジネス・アカデミーからも卒業生ができました。この人達が縦と横の連絡をしていくのですから、並大抵のことではありません。でも皆が、私共が学校で学んだ三日精神を中心に行っている姿を見た時、よかったな、又時々はこれでよいのかなと思われ

私も微力ではございますが、本当に皆さんのためというより、自分のために勉強になることが多々ございます。若い人から学ぶことも沢山ございます。そういうしながら一生懸命やっていきたいと思

平成元年七月二日(日)午前十一時から東條會館において今年度の総会が約一四〇名の出席を得て開かれました。

第一部は黒澤教子先生の司会により、篠原初江・専門幹事長の開会の辞、湊くに会長の挨拶のあと、長岡文・副会長を議長に選出して議事が進められました。

事業報告(小松洋子・総務)、決算報告(竹の谷智子・会計)および監査報告(桜庭法子・会計監査)が行われ、審議の結果、承認されました。

役員改選では、会長には湊・会長の再任、副会長には長岡・副会長の再任と桜庭・会計監査の新任、会計監査には赤木・会計監査の再任と青木・副会長の新任が提案され、審議の結果、承認されました。

新役員から挨拶があり、遠路出席された林志づ・岐阜支部長と目崎昂子・新潟支部長と各部幹事長が紹介されました。

新年度予算審議(橋本文子・会計)も、審議の結果、原案どおり承認されました。(決算、予算、役員および支部長については、別表を参照)

中川悦先生の閉会の辞で第一部を終了し、休憩となりました。会場を移しての第二部は、大村富美子・短大幹事長の司会で進め

られ、新任の桜庭・副会長の開会の辞のあと、湊・会長の挨拶があり、森本晴生・常務理事から学園の近況についてのお話について、来賓の森本篤子先生からご挨拶をいただきました。

近藤宏一先生のお話(別項を参照)とご発声で乾杯をして、食事と歓談をいたしました。

各学校の校長・教頭の先生方から卓話をいただき、萩原由紀子さん(短大1年卒)のエレクトーン演奏のアトラクションもあつて、話の輪が広がり、旧交を暖め、午後三時に、再開を期して散会しました。

同窓会に参加して

専9年卒 林 志づ(旧大沢) (岐阜支部長)

久しぶりに東京の同窓会へ出席させて頂き、なつかしき一杯でございませう。その後の母校の様子は何れも華やかさと賑やかさにふれ有難い事と存じます。

私事でございますが、私は女学校が台北高女でございますので、後輩も、戦後でございます。それは淋しい事でございます。どうかお若い方々も御一緒に母校をもうりたてて頂きます事を願います。岐阜でも毎年ささやかに交流をつづけておりますので、今後共よ

ろしくお願い申し上げます。

専16年卒 種市ヤヨヒ(旧木崎) (八戸市)

お久しぶりのお便りをいただき嬉しく楽しみに、総会に伺いましたところ温かくお迎えいただき、なつかしいお友達の方々にもお逢い出来ましたこと感謝申し上げます。いつもながら明るいムードに包まれ、総会も何のわだかまりもなく順調に三十分で終り、さすが昔ながらの経専と思えました。

八戸は港町、魚の水上げは日本一と言われます。又、工業都市でもございます。私は三年前に主人に先立たれましたが、お蔭様で調停委員とか、表千家青森県副支部長等、民生委員も二十年以上、何とか社会のお手伝いをさせて頂いていただいております。

小31年卒 能村佳子(旧鈴木) (小学校幹事長)

梅雨のせいしか七月にしては涼しい一日でしたが、多数御出席下さった各学校の先生方や、同窓生のお顔はどのお顔も楽しそう、学生時代に戻ったようなお気持ちだった事と思ひます。

又、現在の学校の様子なども伺うことが出来、同窓生にとりまして年々大きくなっていく学園を見る事は、大変頼もしく嬉しい限りでした。

恩師の近況

総会のご案内を退職された先生方にお出しいたしましたところ、ご近況をお知らせいただきましたその一部をここに紹介いたします。(敬称略)

▽一昨年「人生の探求」という本を二千部作りましたが、近く売切れになりましたので、学校宛に一冊贈呈致します。

国立市 影山 寿

▽早いもので、当地亀岡に移り住んで二十年経ちました。息子が昨年四月から東京の大学に行っており、でも時々上京できず子供と親は又別々だと感じさせられています。

京都府亀岡市 石崎喜久子

▽過ぎし日、お世話になりましたこと感謝で一ぱいでございます。両親が長生きしてくれたお蔭様で退職後の十年は看病で、親孝行のまねごとをさせて頂き、今はボランティア等を通して自分を見つめ直すことと覚え、観光にご来島の皆様にお会いできますことを楽しみにしています。

新潟県佐和田町 島村美代子

▽懐かしい東京文化学園、ぜひ出席して皆さんの美貌に接したいと思つ。暮らしの手帖・大橋社長の下で勤めております。

川崎市 千葉千代吉

▽八三歳の老齢なるも年並に元気で、多少臨床に従事し乍ら楽しい毎日を送っています。

港区 佐伯政雄

▽やがて七七歳になりますので、今の勤め(明善短期大学教授)も定年となり、来年三月に退職します。元気だったから来年から同窓会の総会に出席したいものです。しかし、武也君もおらず、さびしいことです。

高松市 川村信一郎

▽四月に息子を地方の大学に出し、寂しさを味わいました。趣味の書道で夏の展覧会に向け、頑張っています。

町田市 鈴木道代

▽熊本に参りまして一年八か月、最初は大変でしたが、すっかり慣れて快適に過ごしています。時折上京しますが、学校にお伺い致さず心苦しく存じます。

熊本市 松尾淳子

▽弘前大学で音楽を教えています。青森県の民族芸能や民謡の調査・研究を主としています。

弘前市 笹森建英

▽桐朋高等学校の美術教員です。東京文化小学校の図工講師は私の教壇に立った初めての経験でしたが、一年半たらずの短期間でしたが、大変良い思い出になっています。

三鷹市 西郷隆弥

▽細々二十有年俳句をつづけ、読売俳壇選者の「森澄雄」師のもと句作に励んでおります。やがて古稀を迎えます。

市川市 川村隆子(旧・羽柴)

▽昨年、宇都宮にて同窓会が開かれ、私も思い掛かず皆様にお目にかかり、昔、お世話になった東京文化学園の事々思い出懐かしく当時を偲びました。このたび主人の定年を機会に横浜に転居いたしました。横浜市 枝村光子

目黒区 大島 駿

▽二人の娘は大学生と高校生。私は家で英語塾をしながら趣味で水彩画を描いたりして過ごしております。

杉並区 池田洋子(旧・外村)

▽六七歳半になりましたが、相変わらず多忙で、当日は理事長を兼ねている医療機器センターで臨床工学技士国家試験をする日で欠席します。本職、東京理科大学教授

川崎市 宇都宮敬男

▽今春、鐘紡から関係会社へ転出しましたが、仕事はいよいよこれからの心算でおります。

茨城県総和町 松崎勝司

▽大学院終了後、短期間ではありましたが、高校、短大と楽しく教鞭をとらせて頂きました。その間森本静子先生には大変お世話になりました。当時若くはりきっていらつした黒澤教子先生と教員室で一緒だったことを思い出します。

杉並区 高崎慎一

▽幼稚園誕生と共に歩きました昔

を懐かしく思い出します。あの頃の一生懸命さを。昨今は学校も幼稚園も引退し、家居の身となり、毎火曜日合唱に専念しています。

世田谷区 土橋光子

▽息子二人とも、結婚して家を離れ、老夫婦二人っきりの生活になり、(自分ではまだ老人のつもりではないのに、老人検診などと言われ)これからの生活設計で楽しみ

思い出しますと昭和二十二年、「校長の森本先生が講師として講義をして欲しい」と今日御出席の岸真子先生が、日本医療団結核課長室にお出で下さいましたので、参上いたしました。

考えてみますと、森本厚吉先生のお人柄にふれて、短大が出来るについて、教授になり、続いて校医になりました。薬品が五、六種あるだけの部屋でしたが、幼稚園から短大、医技まで全員の校医をしました。健康手帳を作り、それぞれの検査の結果を渡しました。卒業の時より目方が増えれば増える程死にます。あるいは今日より体重が増えれば死にます。今日より体重を増やさない。それから短期大学、医技卒業の時より増やさない。この体重を増やさないことを皆様の健康のために進めたい。それから歩かなくなった。車を

近藤宏一先生の総会でのご挨拶

たいと思っております。

小平市 加藤穂子

▽現在六十歳を過ぎましたが、聖路加国際病院の公衆衛生看護部の責任を持ち、片や聖路加看護大学教授として元気に勤めております。

中央区 松下和子

▽唯今は帝京大学医学部も停年になり名誉教授の称号を戴き帝京大学副学長をいたしております。

利用するようになった。車に乗れば乗る程よくない。歩く時代をつくらなければいけない。これは二十一世紀への展望であります。

もし皆様方が御希望あれば来年オランダで盛大な国際歩く大会「ヨクモスコパティ」が開かれます。歩く会の御案内も出しますから、テーブルに置いてあります薬書に、住所、氏名を書いて頂ければお誘いいたします。

どうぞ歩いて下さい。夫婦で、親子で、歩いて下さい。母校にいらつしやる時は歩いて、母校の姿を見て下さい。

ご出席下さいました方々のご健康と将来の御健康、御発展を祈つて乾杯をします。本日はおめでとうございました。

母校の発展、同窓会の発展、ご出席なさった皆様方の一層のご健康を祝して乾杯!

勝を祝して乾杯!

リブアラ会

医技は新校舎(田桃園寮跡)に移転してから三年を経過して更に設備も充実し、福岡校長のもと教授、講師陣も強化され、時代にそった新しい教育が行われ、益々の発展をしております。本年も国試の合格率は98%という好成绩であり、近來就職困難になって来たといわれているにもかかわらず全員卒業前に内定をしたとのこと、誠に御同慶の至りです。

現在、学校の先生は福岡校長以下、本間伊佐子副校長、男子教員3名、女子教員5名、その中卒業生は、佐伯かよ子(35年卒)阿部美紀子(42)大越道代(61)倉島幸緒(63)の4先生で、その他に非常勤講師として実習などの指導をしている方は、藤原ムチ(34)瀬戸幸子(34)大竹順子(38)小栗豊子(38)嘉野美枝子(51)後藤展代(49)佐藤好恵(51)の諸



小島三郎記念技術賞受賞の大竹順子さん

姉で、それぞれ後輩のために奮闘しておられます。

創立以来38年の年を経て卒業生数は約一八〇〇名となりました。

中には育児専念のため職場をなれている人もいますが、大部分の人が夫々の職場で活躍をしておられ頼もしい限りです。

去る五月には大竹順子さん(38)順天堂大病院が小島三郎記念技術賞を受賞されました。大竹さんは忙しい仕事の傍ら、研鑽をつまれ、「尿沈渣、血液像のバラツキの実態と成績管理への基礎的検討」を長年に渡り行われ、今回その功績がたたえられたものです。

小島三郎記念技術賞は今年が第24回であり、過去にも東京文化医技の卒業生でこの賞を受けた方が6名あり、大竹さんを加えて7名となりました。リブアラ会としてこんなうれしいことはありません。

- 受賞者(敬称略)
- 小栗 豊子(38)
 - 白石 一枝(32、旧姓佐久)
 - 相賀 静子(28)
 - 藤原 ムチ(34)
 - 山岸 安子(38)
 - 渡辺 信子(38、旧姓小野寺)
 - 大竹 順子(38)

このほか学位(医学博士)を授与された方、白井美津子(31)、清水加代子(37)、小栗豊子(38)と聞いております。

またこの他に福見秀雄賞、榎田

賞など夫々の分野で受賞された方もおられ、卒業生の社会的活躍を偲ぶことが出来ます。今後も続々と功績をあげ後に続く様皆さんの御活躍を期待致します。

11月2日、3日は例年学園祭を行っています。母校の発展を見るよい機会です。誘い合わせて今の学校の姿を見に行きましょう。

訃報

小酒井 望先生

学校の創設当時からお世話になった小酒井先生は、本年1月、他界されました。東一時代、順天堂大学時代と永い間にわたり卒業生を見守って下さった先生に、心より哀悼の意を表し、御冥福を祈ります。

また、榎田良精先生、大橋成一先生、金子 仁先生、鳴谷亮一先生、梅村泰清先生(基礎化学)も亡くされました。併せて御冥福を祈ります。

岸 真子先生

喜寿の御祝

高女23年卒 関根雅子

昭和63年11月23日、目白の椿山荘で、岸真子先生の喜寿を祝う会を開くことができました。

折りしも結婚シーズン。華やかな雰囲気の中、岸先生を先頭に湊先生、そして60才近い私共の一同



岸先生を囲んで

がそぞろ歩きさまを皆様御想像下さいませ。分けても岸先生はユニークな気骨ある美女。多分人目をひいたことと思います。

紅葉の庭園を見おろす一室で、その日解禁になったムスカデヌーヴオなるワインを賞でながら祝宴を楽しみ、各々近況など語り合い、久しぶりに先生を前にした少女の頃のおすまし?を、体験させていただきました。

ロンドンデリーの歌、校歌等を歌って散会とはなりましたが、明治生まれの岸先生、大正の湊先生、お二人のうしろ姿を見送りながら、今の時代などと云われるその素地を創って来られた方達なのだと、感慨を深くした次第です。

石井ふく子

紫綬褒章を受賞

東芝日曜劇場のプロデューサー、その他演出家として活躍の石井ふく子さんは、この度、紫綬褒章を受賞されました。石井ふく子さんはご存知の通り本学園の同窓生(高女昭21年卒・川添様)であり、特に同窓会事業部の最大収入源である観劇会では、多大のご援助を頂いております。同窓会として大変喜ばしいことであり、早速お祝いを致ししようと五月の理事会で提案されました。お祝いの仕方について話し合われましたが、お忙しいお体だし、沢山の同窓生が参加している観劇会の時がよいとのこと、記念品はご希望の品に決まりました。

六月三日(土)平成元年度の観劇会は、恒例の芸術座にて橋田寿賀子作、石井ふく子演出の「女は一生懸命」が上演され、同窓生はそれぞれ旧交を温め合ったり、泉ピン子さん始め出演者の熱演に感涙したり、笑ったり。終演後、湊会長よりお祝いのお言葉があり、花束と受章記念品(ガラス製花器)を贈呈致しました。湊会長は、ますますはくぐれくぐれお体に気をつけてと強くおっしゃっていました。石井ふく子さんのご健勝と益々のご活躍をお祈り致しております。

“VERITAS VOS LIBERABIT”

「真理は汝等に自由を与う」(新約聖書ヨハネ8章)

沿革

- 昭和2年 女子文化高等学院を東京市本郷区元町(現文京区本郷二丁目)に創立する。役員は理事長に法学博士森本厚吉、理事・法学博士吉野作造、理事・医学博士橋本寛敏、学院長には森本静子が就任する。
- 昭和3年 専門学校令により女子経済専門学校と改称する。初代校長に新渡戸稲造、理事長兼副校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和6年 現在地所在の成美高等女子学校を引継ぎ、附属高等女学校と改称し、新渡戸校長が兼任する。
- 昭和8年 新渡戸稲造校長逝去により、副校長森本厚吉二代校長に就任する。
- 昭和9年 東京都中野区の現在地に移転する。
- 昭和18年 地方学生のために東京都中野区桃園(現中野区中野3丁目)に学生寮を開設、桃園寮と命名する。
- 昭和19年 東京女子経済専門学校と改称し、経済科・保健科・育児科を設置する。
- 昭和21年 英文科を設置する。附属幼稚園を開設する。
- 昭和22年 学制改革により、附属高女は東京経専中学校および同高等学校に分かれ、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和23年 東京経専小学校を開設し、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和25年 森本厚吉校長が逝去したため、森本静子が校長・園長に就任し、橋本寛敏が理事長に就任する。
東京文化短期大学(家政科)を設置し、学長に森本静子が就任する。東京経専高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園を東京文化高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園と改称する。児童研究所を新たに設置する。
- 昭和26年 学校法人東京文化学園を設立、理事長に橋本寛敏が就任する。従来の特設学校は発展的に解消する。
- 昭和27年 短期大学内に医学技術研究室を開設する。
- 昭和30年 東京文化医学技術学校を開設する。医学技術研究室は発展的に解消する。
- 昭和39年 森本武也が学長に就任し、森本静子は学園長に就任する。浅間高原寮を長野県御代田町に開設する。
- 昭和46年 任期満了のため橋本寛敏理事長が辞任し、大浜英子理事が理事長に就任する。
- 昭和47年 医学技術学校校長に医学博士守屋博が就任する。
- 昭和49年 幼稚園長・小学校長鈴木光雄が、中学校長・高等学校長に土居孝輔が就任。理事長に大久保安威理事が就任する。
- 昭和51年 創立50周年記念事業の一環として杉並区和田一丁目に約3,300㎡の校地を購入する。
東京文化医学技術専門学校臨床検査学科と改称。
- 昭和52年 創立50周年記念式典を挙げる。東京文化学園五十年史刊行。
- 昭和53年 幼稚園長・小学校長鈴木光雄の逝去により、幼稚園長に森本光生が就任し、小学校長に永山義夫が就任する。
- 昭和54年 幼稚園・小学校新校舎が、杉並区和田1丁目に竣工し、二学期から授業開始。
- 昭和56年 医学技術専門学校校長に医学博士福岡良男が就任。旧二号館、四号館、七号館を解体し、跡地に体育館を建設し、東グラウンドを整備し、9月から使用する。創立50周年記念事業を完遂。
- 昭和57年 小学校長に橋本正礼が就任する。
- 昭和59年 短期大学長・学務理事森本武也が退任し、名誉学園長に就任。短期大学長に理学博士佃正昊が就任する。幼稚園長に橋本正礼が兼務する。
- 昭和61年 桃園寮を閉鎖し、新校舎の建築を始める。短大八号館を解体。同窓会館を新築する。
- 昭和62年 桃園校舎を新築し、専門学校東京文化学園ビジネスアカデミーを開設し、校長に福岡良男が兼務する。医学技術専門学校を桃園校舎に移転する。短大二号館を増築する。
- 昭和63年 中学校長・高等学校長に黒澤教子が就任する。



創立者
森本厚吉先生



初代校長
新渡戸稲造先生

あなたの良き後輩としてふさわしい

学生・生徒・児童・園児の

ご紹介を!

卒業生の皆さんへ

理事長 大久保安威

昭和二年に女子文化高等学院として創立した東京文化学園の同窓会は、全国に支部31か所、同窓会員数一万九千人余となりました。創立者森本厚吉先生、初代校長新渡戸稲造先生の建学の3日精神を實踐し、各方面で社会に貢献されている卒業生の活躍は、後進の者の誇りと、大きな励ましとなつて

います。また、卒業生のお子さんやお孫さんが母校に入學され、伝統ある校風と、新時代に即した教育を受ける姿を拝見することは、学園にとって力強いことで、皆様の信頼にこたえるよう教職員一同努力しています。同窓会の皆様には、学園祭、総会、クラス会など折にふれて学園に来ていただき、明るい校舎と充実した教育環境に、高い評価をいただいています。本年は全国の支部長の皆様にご

来園いただき(隔年実施)、交流を深めたいと存じます。皆様のご支援をお願いいたします。

東京文化学園

案内請求券 (同窓会)

この請求券を切りとって同封した場合、学校案内は無料になります。必要とされる学校名に○印をおつけ下さい。
短大・医技・ビジネス・高校
中学校・小学校・幼稚園

短期大学 卒業後の状況アンケート

昨年、短期大学の卒業生を対象に、卒業後の状況についてアンケート調査を実施いたしました。この調査は、昭和二十七年から六十三年の卒業生のうち、住所の判明している四九六一名にアンケート用紙を送り、現在、一二五三名の方からご回答をいただいております。用紙の発送につきましては、同窓会報「泉」に同封させていただきました。ご協力いただきましたことをお礼申し上げます。

短期大学が設立されてから三十八年を経過した現在、短期大学における教育のあり方など、さまざまな角度から検討がなされつつあります。卒業生の状況を知り、今後の短期大学の教育の向上と活性化に役立てることを目的として、本調査が行われました。また、社会人の「生涯学習」が叫ばれているいま、アンケートの結果を参考にして、社会人講座の開設なども検討中です。

調査は、就職の状況、栄養士あるいは教員としての活動状況、現在興味を持っている分野、さらに講座への参加の意志、卒業教育の必要性などについて行いました。興味を持つているのは、食と料理

に関することや、語学、スポーツなどが多く、講座への参加については、意志はあるが、家庭の事情や、地域的な面から参加できないという方が多かつたようです。「生涯学習」に関する本年一月の総理府の発表した世論調査によると、国民の八割弱が「生涯学習」に参

昭和六十三年度就職状況 売り市場の追い風に乗って

最近の就職活動はいわゆる就職協定によって早まってきており、八月一日に企業からの求人票を一斉に掲示する所から始まる。その後教務部は終日学生の相談に追われることとなる。

しかし、学生にとっては就職活動は一回限りのものであるが、大学では年間を通じてその活動が行われているのである。まず前年度の就職活動が収束した二月中旬から五月にかけて、主要就職先数十社の人事担当者を訪問し、前年度採用のお礼と新年度の依頼を兼ねて求人動向を早めに察知して来る。昭和六十三年度は企業の各業種とも内需拡大、円相場の安定による

加したいと望んでいるが、過去一年間に実際に参加したのは約四割ということ。アンケートの回答の中にもどんなよい講座でも速方なので参加できないというのがみられました。今回の調査結果から、卒業生の大体の傾向を知ることでできました。同窓会の皆さまや、直接ご回答いただいた卒業生の方々にお礼申し上げます。これらの結果を、将来の方向に活用させるべく検討していきたいと考えております。

景気の回復で当初より明るい見通しがたてられていた。これも永年にわたる先輩の実績によるものであり、卒業生達の活躍についての賛辞をあちこちで受けて、意を強くした次第である。

本学に寄せられた求人票は約七百社にも達し、昨年を大幅に上回った。特に過去に採用実績の無かった企業が再三来校され、熱心にお誘いを受けた。縁故、自己開拓を含め、学生の積極的運動により、九月上旬には半数以上が内定するというさわめて順調なスタートであった。

就職先企業の業種も多様であり、あらゆる業界に進出してはいるが、

時代を反映してサービス産業、情報産業関連への就職が増えてきているのが目立っている。

昭和六十三年度(平成元年3月卒業生)の主な就職先は次のとおりであった。

主な就職先 (順不同)

- 横浜理理学園、エムサービス、大日本給食、東京厚生年金病院、河北総合病院、日鉄ライフ、東京興産、大和土地建物、清水建設、殖産住宅相互、ミサワホーム、日本電産、日本水産、エスビー食品、オーマイ、雪印乳業、東洋紡績、新日鉄化学、東ソー、バンドー化学、小野田セメント、日鉄溶接工業、新日軽、大同特殊鋼、三菱自動車工業、渋谷工業、神鋼電機、日本電気、古河電気工業、松下電工、カルソニック、東隆興業、日本IBM、日本精工、大昭和製紙、三菱製紙、昭光通商、帝人商事、長瀬産業、日本鉄板、オーク、西武百貨店、松坂屋、丸井、三越、東京トヨペット、
- (銀行) 日本債券信用、第一勧業、住友、富士、三和、東海、協和、埼玉、第四、七十七、(証券) 大和、国際、和光、山種、三洋、(生保) 安田、日本、三井、明治、千代田、朝日、日産、大信販、日本通運、北陸電力、国民金融公庫、日本道路公団

出願方法	願書受付期間	試験日	合検査表	試験科目及び必要書類
推薦入学	11月6日(月)～ 11月24日(金) までに必着	11月28日(火)	11月30日(木) 郵送	面接・作文・基礎学力テスト 入学志願書・調査書・健康診断書 推薦書
試験入学	2月21日(水)～ 3月2日(金) までに必着	3月6日(火) 午前8時40分 集合 午前9時 試験開始	3月7日(水) 本学掲示	・食物・栄養コース 国語(国語I・II)、英語(英語I・II)、理科(生物・化学より選択)、 面接 ・教養・教職コース 国語(国語I・II)、英語(英語I・II)、理科(生物・化学)または社会(日本史)より選択、面接

学生募集要項
家政学科

■食物・栄養コース
(栄養士免許取得)

■教養・教職コース
(中学2種家庭・保健科教員免許取得)

お問い合わせ
短大教務課(381)0196 内線233

医学技術専門学校の現況

新カリキュラムが施行されて三年目になります。現在の三年生は一年次より新カリキュラムの下で学びました。教科は現代の医療にふさわしく検査管理学、医用工学、臨床医学などにも重点がおかれ、子防医学にも範囲が広がりました。特に専門領域は基礎専門科目と臨床専門科目にわかれ内容がより高度になりました。

病院実習は三年次の四月より十一月までの間で行われています。長年一年間実施されていた病院実習も八カ月に短縮されました。

現在の実習病院は東京大学病院、慶応大学病院、東京慈恵会医科大学病院、東京慈恵会第三病院、東京慈恵会柏病院、東京医科大学病院、聖マリアンナ医科大学病院、順天堂大学病院、国立病院医療センター、聖路加国際病院、東京逋信病院、立正佼成病院、N T T 関東逋信病院の十四病院です。

臨床検査技師免許取得の為の国家試験は、平成二年度より専門学校卒業生も四年制大学卒業生、三年制短期大学卒業生も同一範囲で全教科二〇〇問の試験を受験しなければなりません。本年三月まで

の国家試験では科目別に出題されていたものが、来年度よりは医師国家試験と同様に科目表示がなくなり、内容については高度になり出題傾向も変化し、医師国家試験で行われている画像判定や図表による解釈なども入ることになりました。

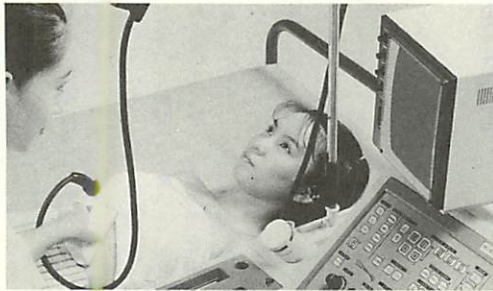
学園生活

四月の入学式に続いて新入生オリエンテーション、この中に河口湖の合宿等も実施され入学生の学校生活がスムーズにスタートする様に配慮されています。次に学友会主催による医技・ビジネス合同スポーツ大会で汗を流し次いで学友会の親睦会がもたれます。二年生は七月に岡山、倉敷方面に研修旅行、九月には一年生の浅間高原寮における合宿があり、勉強のあいまに心に残る楽しい行事が行われています。十一月二日、三日は恒例の学園祭、十二月には例年実施されている研究発表会があり、一年から三年まで一体になり四月から研究テーマにそって研究が行われます。夏休みの七、八月はこの実験などで実習室はフル回転をし

ます。冷房の完備された部屋で各測定器を使用し、カリキュラム外での学習にも目を輝かせて楽しみながら進めています。

就職状況

本年四月の就職状況をお知らせします。今年も大病院、大病院志向は変わりませんが健康管理方面に興味をもって就職先として選んだ学生もありました。特に医師会検査センターでは小・中学校の健診に参加、ドック専門の健康管理センターにも進出しました。又民間の特殊検査センター、企業の学術部にも進出するなど多様化しています。昨年度は卒業生五十四人に対して求人先は約百五十施設



学力実習 超音波検査

求人数は延数五〇〇人でした。平成元年三月の就職先を左記に示しました。

既卒者用求人も多数寄せられています。学校では無料職業紹介所

……平成元年3月の就職先……

- 東京大学附属病院、東京慈恵会医科大学附属病院、昭和大学病院、東京女子医科大学病院、日本医科大学病院、日本大学附属病院、東海大学附属病院、順天堂大学附属病院、帝京大学附属病院、防衛医科大学病院、聖マリアンナ医科大学病院、昭和大学藤ヶ丘病院、東京医科大学病院、東海大学病院、国立病院医療センター、東京都立豊島病院、東京都立墨東病院、心身障害児総合医療センター、武蔵野赤十字病院、横浜赤十字病院、虎の門病院、同愛記念病院、三井記念病院、東京警察病院、聖路加国際病院、東芝林間病院、土浦協同病院、東京電力病院、東京衛生病院、済正会向島病院、久我山病院、大腸病院、S R L、三菱油化ビーシーエル、塩野義製薬、練馬医師会検査センター、武蔵野医師会検査センター、PL東京健康管理センター、ラフライドバイオシステムジャパン

学生募集要項

修業年限 3年
募集人員 64人
入学資格 高校卒業(又は同程度の者)
出願書類 入学願書、出身校の調査書、健康診断書、推薦入学の場合は出身校の推薦書
選考方法 ① 推薦入学
願書受付 平成元年11月1日~12月4日
選考日 12月6日(適性検査、面接)
合格発表 12月7日

選考方法 ② 試験入学
願書受付 平成2年1月8日~2月6日
選考日 2月8日
合格発表 2月9日
試験科目 「英語I」、「化学」「生物又は物理」

* 二次募集があります。

* 詳細は「学校案内」をご覧ください。

ビジネス アカデミー 創立3年目の今は!!

三年目を迎えたビジネスアカデミーは、学校としてほぼ整備されてきたと思われまふ。しかし、目標とする入学希望者数が、予想に反し、延び悩んでいます。

初年度十名、二年度二十二名、三年度十三名の入学者で、これからの課題は、どのように生徒の募集を行い、志願者を増加させるかが当面の問題です。

学校では、高校の先生方を対象に、説明会を開き、又各高等学校へ担当の先生を訪問し、実情をくわしく話して、理解を深めて頂くことを通して募集につながるよう努力しています。又おりにふれて在校生に母校訪問をすすめ、PRをさせています。同窓会の皆様のご支援をお願いいたします。

開校の目的である国際的に通用する、豊かな教養をもった女性の育成について本人達の努力による各種検定試験へのチャレンジと同時に、英国における研修を軌道にのせるため、8月下旬、教務主任が渡英し、現地で「短期間のカレッジ入学とホームステイ」について打合せをし、その結果幾つかの案を作り、学園としての方針を定め実行に移すこととしています。

第二期生の就職

六月に入ると、企業から毎日のように求人票が送付されてきます。入学してすぐ適性検査を行い、

その結果を個人面談で説明し、希望する職種を選択、会社訪問や企業の内容を研究し自分にとどのような職がむかか検討します。

二年生は、夏休み返上で就職活動を行い、早い人は七月上旬に内定通知を受けとりました。

十月九日現在、二百十三社から求人表の送付があり、在籍二十一名中進学・留学の二名を除き十九名が内定しました。

十九名の就職内定企業名
 (株)伊東屋、(株)協和銀行 (二名)
 (株)近鉄百貨店東京店、国際興業(株)
 KOA(株)東京支店、三洋証券(株)
 (株)西武百貨店、(株)セゾンフオーセ
 プンエンタープライズ、(株)東急百貨店、(株)日本テクノス、(株)日鉄技術情報センター、日産自動車(株)
 (株)はまでハウティホーム、丸三証券(株)、丸紅オートリース(株)、(株)三越 (二名) (株)山善

今年の就職先は、一期生と比較すると、金融、流通業界に多くが希望し、学年による差異が見られます。又昨年採用した企業からは非卒業生を推薦してほしいと人事担当の方が来校され、一期生の企業での評価が高いことから教育の効果が上っていると思われまふ。おしい事に在籍者が少なく、担当はおことわりに苦勞しています。

検定合格ぞくぞく

各種検定試験は、企業に就職するための大切な資格で、二年生は

八月までに、多くの検定試験にチャレンジしました。一年生もこれに刺激されて、入学後間もないのに秘書検、英検を受験しました。

合格状況は左表のとおりです。資格・検定合格状況

	1年		2年	
	3級名	2級名	3級名	2級名
英 語 検 定 *	3級名	2級名	3級名	2級名
Cambridge 英 語 検 定		1名	7名	
秘 書 検 定 *	3級名		3級名	2級名
簿記検定	3級名		3級名	2級名
簿記検定 (日商)			11名	
簿記検定 (金経)			3級名	2級名
簿記検定 *			7名	5名
ペン習字検定 *			3級名	2級名
ワープロ検定			3級名	2級名
英文タイプライター検定			15名	4名
			D9	C2

注：*印は重複している者がいます。

第一期卒業生の活躍ぶり

始めての卒業生を送りだしたビジネスアカデミーは、企業に就職した人たちがどう働いているか、学校で教えたことをどう生かしているか、人間関係はどんなか、など、心配しています。

企業の人事担当者に伺いました。A社、B子さんが就職しました。「私は割り合い早い時間に出社するのですが、B子さんは毎日八時十分頃には出勤して、鍵をあげ掃除をして、皆がくるまでにすっきり環境をととのえてくれています。」

す。とても明るく気持ちのよい人が来てくれて喜んでいます。来年も是非採用したいと思っています。」

C社D子さん
 「同期に入社した人と比べて、簿記を習ったためか、伝票の整理の時に他の人と違った、的を得た質問をするんです。やはり、それなりの勉強をしたんですね。私達はこういう人材を必要としているんです。最初から、仕事をばりばりやってくれることも大切ですが、疑問を疑問として、ぶつかってくる人がこれからの企業では大切なんです。」

E社F子さん
 「七月一日に正社員に登用されました。研修期間中もとても熱心に勉強し、積極的に勤務しています。私達の会社は外国の方との接触が多く、語学力があるので仕事の上で大変役に立っています。」

来年も是非このような人を育てた学校から、採用したいと思っていますが、

以上三社の方々のお話しを伺いました。どちらの会社でも、当校の卒業生が、暖く受け入れられ、それぞれの場で、実力を発揮していることがわかりました。本人達の努力も認められ、学校側の教育の成果が大きくあつたものと考えられます。これからの学校での生活指導に役立たせたいと考えています。

東京文化学園ビジネスアカデミー

平成2年度 募集日程 2年制 高卒女子 英語コース60名、ビジネスコース30名

	願書受付締切	選考日	合格発表	選考内容	
推 薦 学 生	第1回	元年. 11. 7 (火)	元年. 11. 8 (木)	選考日の翌日 (校内掲示10:00a.m. 及び本人宛郵送)	小論文・面接
	第2回	元年. 12. 11 (月)	元年. 12. 12 (火)		
	第3回	2年. 1. 18 (木)	2年. 1. 19 (金)		
試 験 学 生	第1回	2年. 2. 6 (火)	2年. 2. 7 (水)	選考日の翌日 (校内掲示10:00a.m. 及び本人宛郵送)	英語・一般常識 面 接
	第2回	2年. 3. 6 (火)	2年. 3. 7 (水)		
	第3回	2年. 3. 22 (木)	2年. 3. 23 (金)		

国際化・高齢化社会に備え、 人格の陶冶と自己教育力の育成

今、生きる建学の精神

中学校長 黒澤教子
高等学校長

同窓生の皆さん、風の便りに全国各地で種々活躍の由承わり、嬉しく存じます。

母校は国際化、機械化、情報化、高齢化といわれる新時代へ向って、
一歩一歩踏み固めております。

新時代にむけて生きる

建学精神

文部省は昨夏、生涯学習局を新設し、教育機構の改革に手をつけましたが、続いて本年一月、中等・高等学校の学習指導要領の改訂を発表しました。

社会の進歩が早い程、生涯を通じて啓発され、充電し続けることを必要とします。「循環教育」なる言葉が創られています。一度社会に出たものが、何年かの職業経験を踏まえた上で、また何らかの学習機関に戻り、新技術、新知識の再教育を受けて再び社会に戻る。その繰返しを要する程に社会の変容が予想される今日です。

創立者森本厚吉先生の言、「卒業は始業なり」です。

であるなら、生涯教育に役立つ人格、基礎的学力・生活態度を育てるのが、生涯学習体系の

中での中等教育の役割になります。

「自分で学ぶ」姿勢と

「心」の養成

こう考えると本校創立以来の教育方針である「自分のために自分で学ぶ」「自分で自分を育てる」という自己教育力の養成は、本校教育のポイントとして、もっと工夫して展開せねばと思っております。

時代は国際人の資質を国民に要請しています。単に外国事情に博識になることのみがその資質ではなく、異文化を持つ相手の立場になってものを考えられる人間が求められているのです。なれば、三H精神を基軸にした「心」のある人間性の養成は欠くことの出来ない

中学 高校の現況

実力養成と人格形成

英会話と海外研修

ますます国際化する社会で、日本及び日本人が文化国家としての役割を果たす場合、外国の人々との交流が出来なければなりません。

い教育指標と言えます。

昔から本校紹介の文には必ず掲載される言葉に、「国際的視野を持ちつつ、日本文化を尊敬する女性」「人前に出て憶せず、はにかまず、堂々と振舞え、なおマナーに叶う品位ある女性」があります。

二十一世紀は、「太平洋の世紀」とか「アジアの世紀」と言われます。停滞する欧米社会と対象的にアジア諸国の経済、文化の浮上を指すのでしよう。その中で指導的立場に立たざるを得ない日本を考えると、これ等の言葉は、今こそ果すべき教育目標と存じます。

同窓生は母校へ、優秀な児童・生徒・学生の紹介を積極的に行

こう並べてみるだけでも本校の教育の方向は新時代にむけてびつたりです。その実現に全校をあげて力を盡くします。自信をもって、胸を張って本校を御紹介下さい。

学校生活の中で六年も十年も外国語を勉強している国は世界でも珍らしいのです。

でもそれだけ学んだ人達でさえいざ意志の伝え合いとなると殆ど話せないのが現状です。

異文化を理解し、相手の立場に立つてものを考えることの出来る国民を育てようとするならば、「聞く話す」も出来る外国語教育でなければなりません。

そこで中学校では週二時間必修高校では選択科目に英会話の授業を設置しました。しかも教授者は異国語人に英語を教える専門の教育をうけたブリティッシュカウンスル派遣の先生方です。平常クラスを分割して小數クラスで実施しておりますので、中高六年通して学習したものは、平易な日常会

話は出来るようになります。

と云って「読む書く」もおろそかには出来ません。望むものには進学に成功する学力も必要です。そこで中一から英語検定を受験させ、また高校では選択科目も増設してそれに備えさせます。

ことばは使わなければ上達しません。その力を試し、更に啓発される機会を与えるため、新渡戸初代校長ゆかりの地カナダに海外研修旅行を行う(平成元年は十三回目。参加生徒二二五名)他、ブリティッシュカウンスルを通し、英国での英語研修旅行を平成二年度より実施を目指して準備中です。



多様な進路に 対応する実力養成

長寿化し、変容の激しい社会で、高齢に至るまで豊かに生きるためには、若年数の少ない人口構造からみて、たくましく自分で生きる力が要請されます。

職業的にいろいろと変化するでしょう。それを乗り越えるには、常に新しいことを学ばねばなりません。つまり充電の要です。そのためには基礎となる学習はしっかり身につけねばなりませんし、確かな知識や技術の習得はまさに「芸は身を助く」でしょう。

中高生が得られるライセンシスには、英語・漢字・書写・ペン習字・家庭などがありますが、少なくとも高卒時には三種以上のしかも高位の資格をとらせたいと思います。

また四年制大学進学志向の強まりに比べ、受験に立ちむかえる学力の養成も重要なこと。六か年一貫を利用して、授業の充実を図ります。

五日制の実施

「自分のために自分で学ぶ」の実践の日として土曜日は「自学自習」の日としています。つまり五日通学・六日学習です。

学年ごとにテーマがあります。中一には予習・復習を習慣づけ

ることです。中二・三年は予習・復習の習慣化の継続ですが、更に私の研究というテーマが行われています。これらは土曜ノートを通して担任と家庭との連絡がはかられて成果をあげています。

高一は「母親に学ぶ」がテーマです。土曜日は一日、母親がわりをしながら、母親から学んでいくということなのです。

高二では教科色のある自学自習のテーマ「自主履修学習」です。各教科よりのヒントを参考に、各自で年間学習テーマを決め、途中、教科の先生の指導助言を受けながら実行します。

高三は進路を中心にすすめています。

これら五日制の生活スタイルも落ち着き、それぞれの成果をあげています。

人格を養なう 多彩な行事

かつて「強く明るく正しく」という標語が使われたことがありますが、三好精神を体し、かつ清潔・端正・品位ある人間性豊かな女性が育つことこそ東京文化の伝統です。その人間性の育成の一環として、多彩・多様な行事を通して生徒個人の自己実現の場を用意し、体験的に習得させております。

厳しさも楽しさもあふる明るい学校東京文化です。

どうぞ、いつでも母校を覗きにいらして下さい。



平成二年度 生徒募集

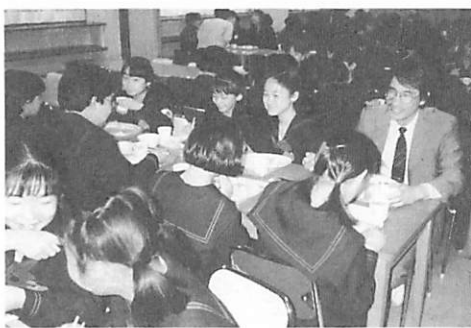
来春の入学試験は従来と相当変わります。

①高校推薦制を廃止。国語・数学・英語の三科の試験を行います。

②中・高とも期日をずらせました。受験生の資質の向上を図る。併願希望者の要望、都及び協会よりの単願推薦過多の弊害除去の要請、その他の理由です。

どうぞ お知り合いの沢山の方々
に沢山御紹介下さり、進学説明会
にお越し下さるようお願い下さい。

上右・中学の英会話
上左・中学の運動会
左中・中学の食堂給食
左下・スキー教室



平成二年度 生徒募集

●中学校
募集人員 約一五〇名

試験日 一回2・2(金)

発表日 二回2・3(土)

一回2・3(土)

二回5・4(月)

願書受付 1・20(土)

1・26(金)

●高等学校
募集人員 約八十名

試験日 2・19(月)・20(火)

発表日 2・21(水)

願書受付 1・26(金)

☆学校説明会
10・7(中学のみ)、11・11

12・16(11・25除く)の各土曜

日、午後二時より



小学校浅間 農村学習

小学校長 橋本正礼

今から三年程前の、ある午後の事でした。杉並警察署の少年係から電話がかかったというので、何事だろうと思って電話口に出ると「お宅の小学校では、子どもさんたちが田植えをしておられるんですか。」

「はい、毎年やっています。」
「実は、駅のポスターを見てそれを知ったのですが、ちょっとその件についてお話を聞きたいので、これから学校の方へうかがってもよいでしょうか。」
「はい、どうぞ。」

やがて、警察署の少年係の方が二人で学校に見えて、いろいろと農村学習の事について質問をしたあげく、こう言って帰られたのです。

「警察署では、子どもの良い活動を奨励するためにいろいろな事をしてはいますが、もう長年田植えのよきな農作業を教育の中に取り入れておられるという事は、農家の仕事への理解を深める上で大へん有意義なことだと思いますので、何かの形で励ましの氣

持ちを表わしたいと思います。」
そして、それから毎年五月になると警察署から電話がかかり、農村学習に行く子どもの数だけ缶ジュースやノートが贈られて来るようになりしました。

この東京文化小学校の農村学習は、御代田の高原寮の完成とともにスタートをしました。

昭和三十九年七月、待望の高原寮が完成し、各校の夏の合宿行事が済んだあとで、森本武也先生が「夏期以外に小学校が何か高原寮を利用するようなことを考えてみないか。」

とおっしゃったのがきっかけとなつたのだそうです。
早速、その年の十月、十四期生(その時四年生)が秋の稲刈りに出かけ、その翌年すなわち昭和四十年の六月に、同じ十四期生(五年生)が農村学習に出かけて初めての田植えをしたのが最初だそうですから、今年でも二十年以上も続けていっていることになります。

その間、田んぼの場所も二回変わわり、今は寮から歩いて二、三分の所にある内堀さんという農家の田んぼをお借りして実施しています。

春、秋どちらにも二泊三日の学習で、春には四年生が出かけて、田植えの他に塩野部落一帯の田畑の観察、農作業の見学等を行い、秋には五年生が、四年生が植えた稲の刈り入れをしてから、釜が淵、

鎌原、火山博物館、鬼押出を巡る岩石学習と、小諸の果樹園で何種類もの枝もたわわなりんごを見学したり自由に取って食べさせて頂くという体験学習をし、最終日には浅間山の写生会をして御代田の秋をたっぷり味わって来ます。

このように、四年生と五年生の二年間にわたる農村学習は、東京文化小学校のような都会の学校の子どもたちにとっては、まことに貴重な体験であり、また、農家の仕事についての理解を深める上でも大きく役立っているものと言えましよう。

高原寮周辺の農業がこのまま続けられている限り、今後も長く本校の特色の一つである農村学習を続けて行きたいと考えています。



田植えの実習

小学校の 英語教育

東京文化小学校では、創立間もない頃から、英語教育を正規の時間割の中に取り入れて来ました。

これは、国際的な視野と感覚を育てなければならぬという新渡戸、森本両先生の教育観に基づくものであることは申すまでもありません。

英語の教育は、耳も舌も柔軟な子ども頃から始めることが最も効果があります。それには、英語を母国語とする外国人によって、本物の英語を聞かせ、教えて貰う事が何よりも大切です。

そのために、本校では、いつも外人講師を招いて、直接教壇に立つて指導をして頂いています。

現在は、英語教育に関して最もすぐれた経験と歴史のあるブリティッシュ・カウンシルという英国政府教育局から、小学生向きの先生に来て頂いて、一年生から六年生まで毎週一回ずつ授業をして貰っています。この他に、二年生以上は日本人教師による英語の授業も週に一回ずつあります。

小学校の英語教育は、まず、興味を持たせて楽しく学ばせることが大切です。だから、歌、ゲーム、ぬり絵などの他、テープレコーダー、テレビなどもふんだんに取り

入れられています。
また、学問として英語を学ぶだけでなく、外国人との接触を通して国際的な視野と感覚が育って行く事も期待しているのです。



英語の授業

平成二年度児童募集

募集人員 男女合わせて約四十名
(内部進学を含む)

入学説明会 9月19日(火) 午前9時40分

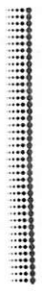
願書受付 10月17日～11月8日

入学テスト 11月10日(金)

合格発表 11月11日(土)

☆入学案内は小学校受付で配布中

ようちえん だより



ヨウシユヤマゴボウの実も紫色に色づき、園庭の草むらからコロギの音が聞かれるようになりました。夏やすみの間に背丈もぐんと伸びた子ども達は、日焼けした顔を輝やかせて元気一ぱいで十年前、三歳児の教育の大切さを痛感して再開した三年保育は、年ごとに希望者を増し、軌道にのって充実した保育をすすめています。入園当初は、まだ、どこかお乳



プール遊び

の匂いのするような子ども達でしたが、夏休み前頃には、もう自分の足でしっかりと歩きはじめました。嬉しい成長の記録を豆鞆先生の保育日誌からご紹介しましょう。
プールあそびだすき!

きらきらと輝く太陽の下でも子ども達は暑さにも負けず、元気がいっぱいです。
暑い中での遊びはやはり、ひんやりとした感触が楽しめる水遊びがなんととっても人気です。
色水やさん、船づくり、砂場での池づくりやおだんごやさん、こつこなど……。

でもプール遊びがいちばん、ことりくみの屋上に組み立てられたプールは直径八メートルほどのかわいいうプールですが、十五人の子ども達が手足を伸ばし、思い思いに水遊びを楽しんでいます。
四月には毎日涙ぐみながらクラスまでお母様と登園していたKくんが、いちばん年下のTくんを相手に「おい、こうやって泳ぐんだぞ」と水泳指導、すっかりお兄さんぶりを発揮しています。スイミングスクールで習ったのかミちゃん

はクロールらしき泳ぎをお友達に披露しています。水鉄砲が上手なのはDちゃんやSちゃん、お友達達の元気のよさにははじめは圧倒されてプールの隅でじっと坐っていたKくんは、プール遊びの回数を重ねることに慣れ、伸び伸びと独自のスタイルで水遊びを楽しめるようになりました。

入園して四カ月の間に自分だけの世界からお友達の世界へ目を向け始めたことりくみ、ひとりひとりがその子らしさを出しながら生き生きと活動しています。

体育活動

今年も例年通り、年長児達は、週一回、短大体育研究室の額谷修二先生より体育指導して頂いています。

一学期前半には、まだ、楽しくて体も心も浮かれていますという様子で、集中して先生の指示をもらえ活動することも、体育用具の片付けも、うまく出来ずにいました。後半には、少しずつ真剣な取り組みがみられる様になって来ました。

夏休みも間近になったある日、「一人ずつ跳ぶところをみてみよう」と跳び箱の成果を披露することにになりました。簡単に跳ぶことが出来ている子どもも緊張の面持ちです。この日まで、全く跳べなかった子どもの中で、D君とAちゃんは初めて跳ぶことが出来、皆

から拍手され、恥ずかしそうに、それでもとても嬉しそうに輝いてみえました。四月から続けて来た跳び箱も上に登ったり、両足で乗ったりすることを少しずつ積み重ねているお陰で、これからも出来るようになる子が増えていくことでしょう。

技術的向上を抜きには、語れませんが、この体育活動を通して一つ一つのこと真剣に取り組むことや最後まで頑張り通すこと、皆で力を合わせてやることなど沢山のことを身につけていって欲しいと願っています。



子どもの教育相談室

お気軽に相談を

子どもの自殺、家庭内暴力、登校拒否など、子どもの教育をめぐる諸問題が、新聞の社会面をにぎわしている昨今です。

東京文化幼稚園では、一人一人のお子さまの健やかな成長を願い、少しでもお母様方のよき相談相手になりたいと、子どもの問題では第一人者の石井哲夫先生にご協力頂いて、「子どもの教育相談室」を開設してから五年目を迎えました。石井哲夫先生は、日本社会事業大学の教授で、子どもの生活研究

所の所長でいらっしゃいます。

お子さまの発達が順調かどうか確かめたい方、知能テスト、心理テストの測定をご希望の方、どうぞお気軽に相談においで下さい。相談日は毎週水曜日、午前九時三十分から午後四時までで、お一人の所要時間は、約一時間三十分です。相談には子どもの生活研究所の田中恵美子先生があたります。予約により時間を決めますので、幼稚園(電話三八一・一一八三)までお申し込み下さい。相談料は三千円です。

平成二年度 園児募集

入園説明会 9月27日(水)
(2:30~3:30)

公開保育日 10月18日(水)
雨天の場合
10月19日(木)

(9:30~11:30)

願書受付 11月1日のみ

入園児諸検査 受付順に実施

三才児男女15名

四才児男女25名

五才児 若干名

を募集します。幼稚園案内を配布中です(無料)

東京文化幼稚園

東京文化学園同窓会 役員

	氏名	住所	電話
	名譽会長 白井 スエノ 166	杉並区堀の内1-10-6	03-312-0428
	会長 湊 くにと 174	練馬区成増4-21-3	03-930-6011
	副会長 桜庭 法子 143	大田区池上3-17-4	03-753-2735
	副会長 長岡 文 227	横浜市緑区桜台25-1 4B202	045-982-1153
	会計監査 青木 純子 176	練馬区中村3-5-16	03-999-4212
	会計監査 赤木 君江 160	新宿区若葉町2-8-7	03-351-4666
経理部	幹事長 藤原 初江 187	小平市花小金井2-755	0424-65-1997
	副幹事長 田村 美知子 181	三鷹市下連雀4-17-26	0422-43-4900
高女部	幹事長 竹の谷 智子 272	市川市東菅野1-3-23-403	0473-25-2733
	副幹事長 江藤 照子 167	杉並区上井草2-41-2	03-390-9727
短大部	幹事長 大村 富美子 410	沼津市西熊堂177-5	0559-21-7185
	副幹事長 金田 容子 215	川崎市王禅寺613-89	044-954-7757
	副幹事長 岩名 永子 176	練馬区中村南3-7-3 1-201	03-926-1073
	副幹事長 中谷 容子 223	横浜市港北区綱島6-21-19-302	045-545-1148
医技部	幹事長 小栗 豊子 112	文京区小石川5-11-15小石川ビューパレス902	03-816-6146
	副幹事長 大竹 順子 177	練馬区東大泉町7-37-7	03-942-8633
	副幹事長 北川 輝子 214	川崎市多摩区長尾6-9-6	044-888-9988
高校部	幹事長 小口 幸子 166	杉並区和田3-31-15-306	03-318-2144
	副幹事長 三雲 保子 166	杉並区和田1-67-17	03-381-1049
	副幹事長 横尾 久子 166	杉並区和田1-70-16	03-381-6030
	副幹事長 佐藤 直子 184	小金井市緑町5-10-22	0423-81-1080
小学校	幹事長 能村 佳子 166	杉並区和田1-28-7-201	03-384-0364
	副幹事長 小島 田鶴子 166	杉並区堀の内2-31-1	03-311-2234
特別校内理事	森本 晴生	03-381-0196 内線 271	0484-63-0276
	中川 悦	03-381-0196 内線 237	03-361-6474
	黒澤 教子	03-381-0196 内線 281	03-391-7351
	白鳥 雅子	03-381-0196 内線 234	0474-72-4070
	小島 圭子	03-381-0196 内線 249	03-384-4639
	小松 洋子	03-381-0196 内線 224	0423-84-5661
校内理事	橋本文子	03-381-0196 内線 261	0424-62-2152
	衆野 京子	381-1184 (小学校給食室)	03-376-3487
	佐伯 かよ子	381-0121 (桃園校舎)	0423-26-1247
	阿部 美紀子	381-0121 (桃園校舎)	044-61-7706
	杉山 佐百合	03-381-0196 内線 229	0423-63-0486
	盛 馨子	03-381-0196 内線 230	03-904-1503
	(同窓会室)	03-381-0196内線232	
	大池 光子 164	中野区本町6-41-1	03-381-4715
	山崎 道子 158	世田谷区羽根木2-1-10	03-321-8030

連絡先 TEL 03-806-3180

勤務先 TEL813-7111

TEL813-7111 血液検査室

TEL454-5069 ライフプラン

ニング検査室

収支計算及び予算

(単位:円)

収入科目	昭和63年度		平成元年度	支出科目	昭和63年度		平成元年度
	予算	決算	予算		予算	決算	予算
1 会費収入	3,136,000	3,136,000	3,240,000	1 通信費	120,000	146,110	150,000
	小 5,000×38= 190,000		小 5,000×31 =155,000	2 印刷費	100,000	114,530	100,000
	高 5,000×192= 960,000		高 5,000×215 =1,075,000	3 会合費	350,000	293,186	380,000
	医 6,000×58= 348,000		医 6,000×54 =324,000	4 事務費	30,000	24,969	30,000
	短 6,000×273=1,638,000		短 6,000×271 =1,626,000	5 会費会計へ繰出	1,200,000	1,200,000	1,200,000
			BA 6,000×10 =60,000	6 交際費	200,000	99,230	200,000
2 受取利息	200,000	314,266	150,000	7 支部費	120,000	95,890	120,000
3 雑収入	0	0	0	8 総会会計へ繰出	400,000	400,000	400,000
4 年会費	1,450,000	1,889,000	1,550,000	9 部会活動費	300,000	300,000	300,000
5 前年度より繰越	363,311	363,311	462,982	10 入会記念品費	450,000	416,400	450,000
収入合計	5,149,311	5,702,577	5,402,982	11 役員交通費	200,000	182,000	200,000
				12 人件費	560,000	560,000	700,000
63年度未残高	本会計 16,227,735			13 名簿部へ繰出	1,000,000	1,000,000	1,000,000
	事業部 5,073,205			14 積立金	100,000	400,000	100,000
	名簿部 1,310,532			15 予備費	19,311	7,280	73,082
	会報発行部 239,584						
	計 22,851,056			小計	5,149,311	5,239,595	5,402,982
				次年度繰越		462,982	
				支出合計	5,149,311	5,702,577	5,402,982

東京文化学園同窓会支部一覽表

平成元年9月12日現在

北海道札幌支部	玉木美佐	060	札幌市白石区菊水五條3-4-32	TEL	011-82-8283
帯広支部	川上幸子	080	帯広市依田町6	TEL	0155-23-2201
青森支部	木村正枝	030	青森市浜田板橋23	TEL	0177-39-5010
秋田支部	那波ノブ	010	秋田市保戸野中町6-14	TEL	0188-62-2570
岩手支部	山田泰子	020	盛岡市東緑ヶ丘17-12	TEL	0196-61-8453
副支部長	佐藤栄子	020	盛岡市山岸6-38-27	TEL	0196-63-0072
山形支部	星信子	990-23	山形市飯田5-16-4	TEL	0236-41-7547
副支部長	斉藤節子	999-83	山形県飽海郡遊佐町字堅田31	TEL	02347-2-2438
宮城支部	稲村きくえ	960	仙台市鶴ヶ谷5-20-19	TEL	022-251-3675
新潟支部	市村サチコ	940	長岡市弓町1-3-21	TEL	0258-32-1237
副支部長	高橋嘉子	950-21	新潟市寺尾東3-11-26-21		
福島支部	岡部ますみ	963-02	郡山市大槻町熊野木34	TEL	0294-51-1631
副支部長	渡部記子	967	南会津郡田島町大字永田字大道上350	TEL	0241-62-1129
富山支部	布村清子	939	富山市大町一区南部43-5	TEL	0766-25-3557
副支部長	吉田のり子	939-13	砺波市東保598-2	TEL	0763-37-0170
長野支部	山崎さち子	390-63	松本市浅間温泉189	TEL	0263-46-0882
副支部長	栗林光江	389-06	埴科郡坂城町南条2,304	TEL	0268-82-2273
茨城支部	山田よし	319-15	北茨城市磯原1,215-3-15	TEL	0293-42-0194
副支部長	山田節子	308	下館市岡崎西浦1-6511	TEL	0296-2-6007
栃木支部	戸部八重	320	宇都宮市西2-2-30	TEL	0286-34-6589
副支部長	豊島玲子	323	小山市神島谷1,085-4	TEL	0285-22-1069
群馬支部	塚田幸子	371	前橋市日吉町2-6-11	TEL	0272-31-7090
副支部長	佐藤春枝	371	前橋市朝日ヶ丘1-7	TEL	0272-51-6850
副支部長	関口喜美恵	371	前橋市昭和町3-8-10	TEL	0272-32-3751
静岡支部	島田良香	430	浜松市下池川町2-11	TEL	0534-71-2569
岐阜支部	林志づ	504	各務原市那加雲雀町37	TEL	0583-82-0770
副支部長	友枝節子	500	岐阜市夕陽丘11	TEL	0582-62-8895
愛知支部	野田梅子	464	名古屋市中種区田代町観音堂西15-3	TEL	052-711-2959
副支部長	朽木美代子	465	名古屋市長久区松井町311	TEL	052-703-7716
鳥取支部	中田正子	608	鳥取市馬場14	TEL	0875-22-3409
兵庫支部	上田文子	654	神戸市須磨区竜が台2-1-42-204	TEL	078-793-2548
岡山支部	柳田睦子	700	岡山市当新田490-298	TEL	0862-43-7931
副支部長	小橋美恵子	700	岡山市東古松5-8-29	TEL	0862-31-4870
広島支部	石橋勝子	729-64	広島市高田郡甲田町上甲立709		
高知支部	森美佐子	780	高知市高須新町4-8-3	TEL	0888-83-8227
副支部長	西山迪代	780	高知市上町1-11-34	TEL	0888-23-5445
和歌山支部	堀京子	649-35	西牟婁郡串本町串本1851	TEL	07356-2-3075
副支部長	藤野美千代	649-35	西牟婁郡串本町串本1392	TEL	07356-2-3988
愛媛支部	鎌田徳子	795	松山市高岡町781-7	TEL	0899-73-6099
副支部長	藤田喜美代	792	新居浜市船木2995-1	TEL	0897-41-6888
福岡支部	龍乙栄	832	柳川市靴屋町48	TEL	09447-2-2213
副支部長	森田幸子	824-02	福岡県京都郡犀川町大熊字一木306	TEL	09304-2-1334
大分支部	長田尚子	826-24	大分県南海部郡蒲江町大字蒲江浦3,383	TEL	09724-2-0005
副支部長	麻生イシ	876	佐伯市西谷5班	TEL	09722-2-8018
宮崎支部	中村民子	885	都城市蔵原町8-2	TEL	0986-22-3137
副支部長	手塚京子	880	宮崎市祇園町1-71		
長崎支部	久松つる江	856	大村市片町71	TEL	0957-52-3459
副支部長	村上鈴子	850	長崎市風頭町11-6	TEL	0958-23-4271
熊本支部	村村上正子	862	熊本市大江5-16-18-503	TEL	0963-62-3563
副支部長	林田陽子	867	水俣市江添町370尾田医院内		
鹿児島支部	堀川ミヨ	890	鹿児島市天保山町13-15	TEL	0992-55-3687
副支部長	永山高子	890	鹿児島市和田町883-6	TEL	0992-61-6328
沖縄支部	阿波根由	904	沖縄市諸見里3-9-6	TEL	09893-3-0822

理事会・幹事会のつづき

昭和六十二年度

第四回理事会

十二月七日(水) 中野「花水木」

- 一、観劇会報告
- 二、学園祭売店報告
- 三、同窓会入会式について
- 四、海外旅行について
- 五、文化部新設について

第五回理事会

二月二十三日(木) 同窓会館

- 一、地方支部会について
- 二、海外旅行について
- 三、入会式について
- 四、観劇会について
- 五、六三年度仮決算、元年度予算について
- 六、元年度幹事会について
- 七、元年度総会について
- 八、文化部について

第一回理事会

四月十二日(木) 同窓会館

- 一、副会長について
- 二、幹事会について
- 三、総会について
- 四、理事の役割分担について
- 五、慶弔内規について
- 六、観劇会・海外旅行について
- 七、文化部について
- 八、総務事務について

第一回幹事会

四月二十一日(金) 学園第二カ

フエテリア

- 一、六三年度決算、元年度予算について
- 二、総会について
- 三、今年度の事業計画について

海外旅行
観劇会

第二回理事会

五月二十三日(火) 同窓会館

- 一、観劇会について
- 二、総会について
- 三、学園祭について
- 四、文化部について
- 五、石井ふく子様の紫綬褒章受賞について

第三回理事会

六月二十一日(水) 同窓会館

- 一、観劇会報告
- 二、総会準備中間報告
- 三、文化部について
- 四、海外旅行報告
- 五、文化部報告

第四回理事会

九月二十日(水) 同窓会館

- 一、総会反省
- 二、学園祭について
- 三、「泉」発送
- 四、海外旅行報告
- 五、文化部報告

学園祭の売店

昨年十一月一日と三日の学園祭

での同窓会の売店は、皆様のご協力により例年どおり二色弁当、サンドイッチ、ポップコーン、パンティストッキングなどのほか、献品の販売を行いました。四三六、一九三円の純益がありました。

このほかに、同窓会特製のスクールリング、コーヒーカップなども販売しました。今年も同じような計画をしておりますので、学園祭にお越しください。

愛知・岐阜

合同支部会

青葉の美しい五月二十八日(日)に岐阜・愛知の合同支部会を岐阜公園のそばで催しました。愛知支部からは、野田支部長、朽木副支部長ほか八名、岐阜支部からは鈴木孝道先生、支部長ほか八名が集まり、合計十六名が楽しい昼食会をいたしました。その後、お抹茶を公園内のお茶亭でいただき、歓談いたしました。

岐阜支部では昨秋、二期の堀江様が亡くなられ寂しい処、高野、中島、鷺見様のお三人が新しく参加されて、賑やかでございました。鈴木先生とも初めにお逢いし、心丈夫でございました。

岡山支部会

岡山支部長 柳田睦子

昨年九月二十日(火)に岡山駅前「みよしの」でとり行いました。出席者は小橋美恵子、藤原節子、柳田睦子、後藤美恵、清水弥生、児玉正子、土居満子の七名でした。

この席で、岡山副支部長として小橋美恵子さん(短大42)に決まりました。

観劇会

さる六月三日(土)芸術座において、東玉現代劇特別公演、橋田寿賀子作、石井ふく子演出の「女は一生懸命」を鑑賞しました。会員の皆様のご協力で満席となり、百二万円余の純益を上げることができました。

終演後、花束贈呈につづいて出演者の泉ピン子さんの挨拶がありました。また、この場を借りて、石井ふく子さんの紫綬褒章受賞のお祝いが行われました。

年会費をお忘れなく

卒業後一年以上の方々に年会費として毎年千円の納入をお願いしております。昨年度は延一八八九人の同窓生からご協力いただき、ありがとうございます。

会員は年々七百人以上ずつ増え、通信連絡などのコストも上ってきております。一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。今回は昭和五十四年三月までに卒業された方々に年会費の振込み用紙を同封いたします。

物故された方々

- 1.2.13 岡多似 享年16
- 6.2. 大胡美代 享年23
- 6.7. 吉森恭子 享年5
- 1.2.25 藤田洋子 享年23
- 1.1.27 竹下公子先生 享年21
- 6.2.7.15 星塚道子先生 享年21
- 6.3.12. 小林亜美 (殿城) 享年31
- 1.6. 中野良孝 享年29
- 1.6. 渡辺頌子 享年19
- 1.8.7 井出好昭 享年42
- 1.8.7 日崎晶子 享年28
- 1.4.16 辻美代子 享年17
- 1.4.16 窪田しのぶ 享年37

発行所	東京都中野区本町 6-38-1 〒164 東京文化学園同窓会 電話 03-381-0196
発行人	湊 くに
編集人	青木 純子
印刷所	幸陽印刷株式会社